

ティーンズだより

みどりの翼



◆ とびっく ◆

新刊・この本読んで！

Read me !

「特集★トモダチ」

気になる、この本 募集中！！

特集+α(ぶらすあるふぁ)

お知らせ

Vol. 22



特集 **トモダチ**

発行：田原市図書館

発行日：平成 20 年 4 月 18 日

〒441-3421 田原市田原町汐見 5 番地 TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

特集+α (ぶらすあるふぁ)

特集「トモダチ」いかがでしたか？

友達にもいろいろなカタチがありますよね。それでは今回も、図書館にあるDVDなどをあわせて紹介します！

☆「トモダチ」なDVD

『フリー・ウィリー』 C42/フ

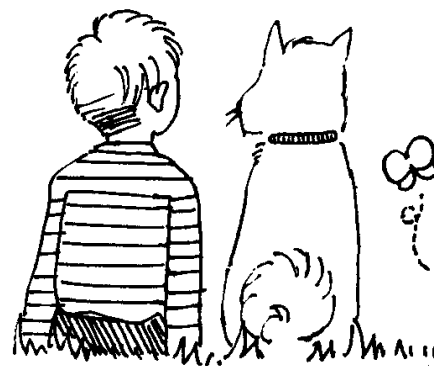
母親に捨てられた少年と家族と引き離されたイルカの友情と成長の物語。

『ぼくらの七日間戦争』 C41/ボ

厳しい校則に反発した「ぼくら」と先生たちとの戦い。1988年の作品ですが、色あせません！

『キッチン・ストーリー』 C42/キ

一人の孤独な老人のもとにやってきたキッチン調査員、調査では口をきいてはいけないというルールでしたが……。



映画は人気なので、棚にあってもすぐに借りられてしまいます。興味のある人は、予約をしてくださいネ！

ところで、まもなくやってくる 4 月 23 日ですが、子ども読書の日、サン・ジョルディの日、世界図書・著作権デーと、本に関する記念日が重なっているんですよ。ちなみにサン・ジョルディの日は、日本とスペインにのみある記念日で、スペインのカタルーニャ地方では、男女で赤いバラと本を贈りあうという風習があるそうです。日本ではあまり定着していませんけどね。



～ お知らせ ～

◎特別整理期間◎

図書館の本の状態をチェックするために、ちょーっと長いお休みがあります。

各図書館でお休みになる日にちは違います。皆さんにはご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。

◆中央図書館

5月20日～5月23日

◆赤羽根図書館

5月27日、28日

◆渥美図書館

5月28日～5月30日

☆新刊・この本読んで！☆

1月から3月にかけて入った新刊からおすすめの本を選びました。

あなたのお気に入りはいつかるかな？

「九つの、物語」橋本紡//著 集英社 913.6/ハシ ティーンズ



実家に一人で暮らす大学生のゆきなのもとに、ある日突然もういないはずのお兄ちゃんが帰ってきた。お兄ちゃんは二年前に死んだはずだと分かっている。けれど自分以外にも見える、以前とまったく変わらないお兄ちゃん存在を次第に受け止めていくゆきな。けれど、離れて暮らす母からの手紙でゆきなの中で閉ざされていた二年前の記憶が呼び覚まされて…

女の子にもてて派手なお兄ちゃんと、正反対の私。それでもおたがい思いあっている兄妹の姿に切ない最後が心に残ります。

「漂泊の王の伝説」ラウラ・ガジェコ・ガルシア//著 松下直弘//訳 偕成社 963/ガ ティーンズ



物語の舞台は昔のアラビア。砂漠の国キングの王子ワリードは、すべてに秀で皆に愛され尊敬される人物だった。しかし、若き王子は大きなあやまちをおかしてしまう。詩のコンクールで貧しい絨毯織りに負け、憎しみからその男に難題を出し、その結果死なせてしまったのだ。

絨毯織りの命と引き換えのように完成した、この世のものならざる絨毯が、王宮から盗まれたとき、ワリードは「漂泊の王」となり、絨毯織りの息子たちに償うため絨毯をとりもどす決意をする。

「漂泊の王」となったワリードの成長し凛々しくなっていく姿が、カッコイイ！特に後半はぐいぐい引き込まれます。

「ホタルの歌」原田一美//作 未知谷 486/ハ ティーンズ



♪ホッ、ホッ、ホタルこい、こっちの水は甘いぞ〜。5月末から6月、夏がはじまる季節は、ホタルが飛び交う幻想的な風景が楽しめます。

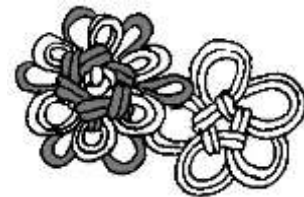
徳島県の小学校ではじまったホタル観察、はじめは何にも知らなかった6年生の児童と先生が、いろんな疑問を一つずつ解決していきます。本にたよらず、自分たちの目で見て、観察した結果、ホタルの生態が研究者顔負けに詳しくなる様子は圧巻！35年前の本が復刻版で登場。学校、地域、子どもと先生、のどかな時代をなつかしむだけでなく、こんなすてきな授業や体験がこれから先もできるような「環境」について考えてしまう一冊。

図書館がオススメするすてきな本

Read me! 特集★トモダチ

今回のテーマは「トモダチ」です。

♪ともだち100人できるかな♪な気分で期待いっぱい春です。幸せなことの第一位はダントツで“トモダチがいること”ですよ、やっぱり！新しい一年のはじまり、一生付き合える大切な友だちや素敵な本と出あえるかも…。



「アグリー・ガール」

ジョイス・キャロル・オート//作 神戸万知//訳 理論社 2004年 933/オ ティーンズ



ある日、学校爆破の予告の容疑者になってしまった、マット・ドナヒー。友達、事件にまきこまれないように、周りの目を気にして、どんどんはなれていく。孤立してしまったマットの前にあらわれたのは、自分のことを「アグリー・ガール」と呼ぶ、アーシュラ・リグス。アーシュラは、バスケットに熱中する正義感の強い、一匹狼で男勝りな女の子。容疑を晴らすため協力するうちに二人の友情は徐々に変化して…。先生や親、大人たちがわかってくれなくても、信じてくれる人が一人でもいれば救われる。15歳のふたりの友情と淡い初恋物語♡

「ニンジャ×ピラニア×ガリレオ」

ケレグ・ラティック・ズル//著 小田島則子・小田島恒志//訳 ポプラ社 2007年 933/ス ティーンズ



7年生（中学2年）で親友同士のイライアス、ホノリア、ショーヘイは学校で毎年開催される科学コンテストに参加することになる。嫌々ながら始めたイライアスだが、根はまじめ、詳細にデータを取り、結果を導き出すがその結果の正否に疑惑がかかる。そして、かつてガリレオが地動説を唱え裁判にかけられたように学校裁判にかけられてしまう。下手をすれば退学かもしれない…。そんな中、恋の三角関係や科学コンテストがからんで、仲の良かった3人の間も、ぎくしゃくしてしまい…。

「友だちは無駄である」

佐野洋子//著 筑摩書房 1988年 159/サ ティーンズ



「無駄な時間にこそ、大切なものがある。」友だちは無駄って、逆説的な表現ですが、納得！です。「幼なじみは、すごく懐かしくて安心なもの」「友情とは年月のことである」などなど、人生の先輩でもあり、すてきな生き方をしている人のいう事には素直にうなづいてしまう。佐野さんの人との付き合い方や、人間関係を垣間見せてくれる。理屈じゃなく人それぞれでいいんだ！と思う反面、じっくり付き合える人が一人でもいるって本当に幸せなことなんだと実感する一冊。

対話形式で読みやすく、対話の相手ともかなり親友なのは、思ったら、お相手は谷川俊太郎さんでした！納得(´。´)

「トラベリング・パンツ」

アン・ブラッシュアーズ//著 大島双恵//訳 理論社 2002年 933.7/ブラ ティーンズ



レーナ、カルメン、ブリジット、ティビーの4人は大の仲良し、学校が違って毎週のように会っていたけど、今年のはじめて別々の夏休みを過ごすことになる。そんなときに彼女たちの前にあらわれたのが魔法のジーンズ。どのへんが“魔法”かというと体型が異なる彼女たちの誰がはいても、いつもよりステキになれるジーンズだったから。ジーンズは10のルールに従って彼女たちの友情の証として4人の間を旅することになります。それぞれいろんな悩みにぶつかるけれど、遠く離れても思いあっている友達の存在ってとっても大きいと感じられる作品。

「僕らの事情」

デイヴィッド・ヒル//著 田中亜希子||訳 求龍堂 2005年 933.7/ヒル 一般



ネイサンの親友サイモンは口調にとげはあるけれど、ユーモアにあふれるクラスの人気者。二人ともロールプレイングゲームが大好きで、女の子に興味のあるごく普通の15歳。ただ、サイモンが筋ジストロフィーという、次第に筋力がなくなっていく病気を抱えている以外は。

ネイサンはサイモンの事情をよく知っているけれど、サイモンが「めちゃくちゃいいやつ」だから、一緒にいる。同情されるのを嫌うサイモンに対し、深刻なはずの病気のことさえジョークのネタにする二人の姿に思わず笑ってしまいます。二人の友情には病気なんて関係ない、そう思えてしまいます。

「包帯クラブ」

天童荒太//著 筑摩書房 2006年 913.6/テン ティーンズ



女子高生のワラは学校をさぼって昇った病院の屋上でディノと名乗るおかしな少年に出会う。ディノから辛い思い出が残る場所に包帯を巻くというアイディアを教えてもらったワラは、親友のタンシオと一緒にお互いの傷が残る場所に包帯を巻いていく。包帯を巻くことで心の傷が軽くなるといううわさは友達から友達へと伝わり、ワラたちは依頼を受け包帯を巻く「包帯クラブ」を結成する。

みんな心のどこかに傷を持っている。傷に向き合うことでお互いの絆を深めていったワラたちの過去と現在。この作品は昨年映画化もされたので知ってる人も多いんじゃないでしょうか。

「どうして君は友だちがいないのか」

橋下徹//著 河出書房新社 2007年 159/ハ ティーンズ



現大阪府知事の著者による（書いたのは当選前ですが）、友だちづきあいの方法を書いた本です。「荒れた」学校に通っていたという著者は、一見なかなかヘビーな子ども時代を送っています。転校早々「おい新米」といきなり殴りかかられたなんてエピソードも。そんな実体験を元に、どんなふうに学校生活をうまく送ったかが書かれています。ここまでくるとまさに世渡り術ですね。

友達づきあいに悩んでいる人には、参考になって、ほっとできる内容かも。とはいえ、全体的にちょっとショッキングな友達論です。覚悟の上でお読みください。

「いじめ14歳のmessage」

林 慧樹//著 小学館ルルル文庫 2007年 913.6/ハヤ ティーンズ



クラスメイト千夏のいじめを「やめよう！」と言った次の日から、主人公、慧佳へのイジメがはじまった。無視、暴言、暴力・・・親にも言えない苦しい日々の中、真夜中に会った目の不自由な女の子との出会いで少しは救われる。しかし14歳の少女には耐え切れない「いじめ」に終止符を打つように、学校の2階から飛び降りてしまう。

リアルで衝撃的な小説。10代の人にはもちろん、親や先生たちにも一度よんでもらいたい一冊です。自分がされていやな事は人にしない。人間としてどんな風に生きていくのか？当たり前だけど大切なメッセージがいっぱいつまっています。

「ヤンネ、ぼくの友だち」

ペーテル・ポール // 著 ただのただお // 訳 徳間書店 1997年 949/ポ ティーンズ



ある日突然、主人公クリッレの前に自転車で登場する不思議な少年ヤンネ。名字も年齢も住所も不明で、ときどき姿をくらましてしまう謎の少年は、ひとには言えない秘密を持っていた。刑事に尋問され答えるうちに、自分は、なんて子どもだったんだと気づくクリッレ。

北欧、スウェーデンを舞台に、子どもから大人へ成長していくクリッレ少年と、ヤンネの悲しい現実。赤毛でそばかす、まるで少女のような不思議な少年との、ひと夏の出会いの物語。二人の激しい友情、痛々しいまでの10代の感情のぶつかりあい。一生に一度の貴重な友情体験のお話はいかがでしょう！

「走れメロス」

太宰治 // 著 岩波書店 2002年 913/ジ ティーンズ



走る、走る！メロスは走る！！友人セリヌンティウスを救うために。暴君ディオニスの怒りにふれ、処刑を言い渡されたメロス。せめて結婚する妹の晴れ姿だけは見たいと、親友セリヌンティウスを身代わりにメロスは三日間だけの猶予を手に入れる。妹の結婚式を済ませ再び街へと急ぐメロスだったが、道中濁流となった川や山賊に行く手をふさがれてしまう。果たしてメロスは間に合うのか。

友情を描いたあまりにも有名な物語。あなたは何があっても友だちのことを信じられますか？

「気になる、この本」募集中！！

ティーンズ掲示板前においてある「気になる、この本！」と「投稿しよっ！」用紙を知っていますか？



「こんな本、友だちに紹介したい！読んでみて～」とか「こんな本が図書館にあったら、読んでみたいなあ～」というみんなの声を募集しています。また、毎月テーマのちがうイラストが、掲示板をカラフルにいろどっています。みなさんもぜひ、一枚書いてみてください。投稿、お待ちしております！！

📖他にもこんな本あります📖

○「永遠の友だち」

サリー・ワーナー // 著 山田蘭 // 訳 角川書店 2006年 933/ワ ティーンズ

○「Letters ぼくのおとぎ話からの手紙」

荒井良二 // 著 フレーベル館 2007年 E/ア ティーンズ

○「12歳の友情論」

橋本甜歌 // 著 ブックマン社 2006年 779.9/ハ ティーンズ

○「みんなのノート 中学生の巻」

金子由美子・橋本早苗 // 著 大月書店 2007年 371.45/カ ティーンズ

○「ぼくのともしちドゥームズ」

キサン・ホプクラフト&キャロル・コースラ・ホプクラフト // 文
あかおひでこ // 訳 BL出版 2001年 480/ホ 児童

○「小中学生のための パソコン・インターネット安全ガイド」

野間俊彦 // 著 日経パソコン // 編 日経BP社 2005年 007/ノ ティーンズ

○「きみの友だち」

重松清 // 著 新潮社 2005年 913.6/シゲ 一般



★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。
カウンターなどで気軽に声をかけてね！

* 次回のテーマは「みゆ〜じゅく」です。お楽しみに！

